

【OAM インプラントベーシックコース特別企画】

耳鼻科専門医と連携した、歯科的上顎洞アプローチ検討・研修会
OAM インプラント特別講演会(豚上顎骨ハンズオンセミナー)

【開催日】2020年10月25日(日) 午前10時～午後4時

【開催地】AP 東京八重洲通り会議室(東京、京橋、日本橋駅徒歩圏内)

【講演概要】

デンタルインプラント治療における上顎洞へのアプローチは症例数の増加、患者満足度の向上には欠かせないオプションです。ソケットリフトに特化した研修会、セミナーはインプラント治療を始めた方であれば次のステップということで参加されたご経験も多いのではないのでしょうか。

上顎臼歯部にインプラント治療を希望される患者さんの70%が骨高不足というデータ(※)もあり、骨造成が必要となるケースは少なくありません。垂直的骨造成のテクニックがまだまだ未知数の部分もあり、ソケットリフトやサイナスリフトでの骨造成(上顎洞拳上)が主流であり、臨床家としては外せないテクニックのひとつと言えるでしょう。

しかし、上顎洞については意外と知られていない部分で、“洞粘膜を破らなければ問題なし”程度の知識では、積極的に上顎洞にアプローチするには心もとないと感じる先生も多いようです。

そこで、本研修会では耳鼻科専門医をお招きして耳鼻科医の見地で上顎洞の解剖、疾患、注意点などについて講演していただきます。

また、後半の部分では歯科医師による骨補填材を使わない、マレットリングしないソケットリフトテクニックについて解説、実習を行ないます。

なお、耳鼻科専門医と歯科医師はご兄弟のため日ごろから連携しており、洞粘膜の肥厚時の対処法、投薬などの具体的な方法についてもご紹介していただきます。

〈抄録〉

耳鼻咽喉科と歯科は隣接医学として極めて重要であるが、学べる機会も少ない。

特に、歯科インプラント治療をおこなっている歯科医師の先生方は多くの疑問点をお持ちではないかと思えます。

講演では、耳鼻咽喉科学概論を整理しながら、歯科インプラント専門医に必要な副鼻腔(上顎洞)の解剖と疾患、注意すべき点などについてお話をさせて頂いた上で、先生方からのご質問にもお答えをする時間を多くとりたいと思います。

山本 英永(やまもと ひでなが)

- ・茅ヶ崎耳鼻咽喉科クリニック、院長
- ・日本耳鼻咽喉科学会、認定専門医
- ・補聴器適合判定医、相談医

【講師紹介】



山本 朋章先生

松本歯科大学卒業
国際口腔インプラント学会・認定医
日本顎咬合学会・認定医
特定非営利活動法人日本・アジア
口腔保健支援機構理事(学術事業部)
OAM(大口式)先進インプラント公認インストラクター
OAM(大口式)先進インプラント・認定医・指導医

【講師紹介】



山本 英永先生

産業医科大学医学部卒業
産業医科大学耳鼻咽喉科医局入局
茅ヶ崎耳鼻咽喉科クリニック院長
日本耳鼻咽喉科学会、認定専門医
日本耳鼻咽喉科学会
日本形成外科学会
日本耳鼻学会
耳鼻咽喉科短期滞在手術研究会、他

【主なカリキュラム】

- ・デンタルインプラントジストに必要な副鼻腔(上顎洞)解剖学
- ・デンタル CT で判断する副鼻腔疾患
- ・耳鼻科専門医が指摘するインプラント禁忌症例
- ・インプラント迷入時の耳鼻科的対処法、歯科的対処法
- ・洞粘膜破損時の耳鼻科的対処法
- ・上顎洞に補填材をいれることのリスクについて
- ・補填材不要、マレットリング不要なソケットリフト法“ジグリングオステオームテクニック”
- ・ジグリングオステオームテクニック手術動画解説
- ・ジグリングオステオームテクニック実習
- ・歯科医と耳鼻科専門医によるディスカッション
- ・質疑応答

